

精神障害のある人の 恋愛や結婚事情

～当事者をとりにまく壁と必要な支援～



メンタルな病気があっても、
恋愛したい、
結婚したい、
子育てしたい
他の人たちはどうしているの……？

申込
不要

講師

蔭山正子さん（大阪大学）

日時

3月22日（土）
13時30分～15時30分

会場

三田市総合福祉保健センター
多目的ホール



精神障害のある人の恋愛や結婚について、当事者と共に愛する力を磨くピア学習プログラム「あいりき」を行っている大阪大学教授の蔭山正子さんの講演を通じて、精神障害者の恋愛、結婚、出産、子育ての実際から、当事者の希望と現実を学びます。

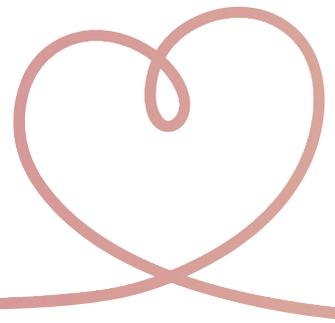
そして、出会い、お付き合い、結婚生活、子育てなどそれぞれの段階での具体的なエピソードも交えながら、当事者のこれからの人生について考えるきっかけとします。

■ 主催・問合せ：三田市障害者総合相談窓口きいてネット

■ tel: 079-559-5205 ■ Fax: 079-559-5214 ■ メール: sanda-kite-net@ace.ocn.ne.jp

精神障害のある人の恋愛や結婚事情

～当事者を取りまく壁と必要な支援～



●開催の背景

精神障害のある人の恋愛や結婚について関心が寄せられています。病気や障害があっても自分らしい人生をおくることが理解が進みつつあり、恋愛や結婚、さらに子どもを希望する当事者は少なくありません。

しかし、恋愛や結婚などプライベートな事柄への支援は十分とは言えません。精神疾患は思春期に発症することが多く、恋愛を経験する機会が少ない場合や自身のコミュニケーションに不安を感じる場合もあれば、経済的な事情から恋愛や結婚に消極的になる場合もあるようです。症状と恋愛、結婚の両立に不安を抱える人もいます。

そして、医療や福祉の支援者は、恋愛や結婚などの個人的な事情に立ち入ってよいのかと支援に躊躇することもあります。また、支援者や家族のなかには、当事者が失恋することで精神的に不安定になることを心配して、恋愛や結婚に賛成しづらい場合があるとも聞きます。

●講師プロフィール

大阪大学高等共創研究院教授、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻（公衆衛生看護学）兼任。保健師。

○主な研究テーマ＝精神保健、母子保健、精神障がい者の家族支援・育児支援、恋愛・性・生殖の支援。

○著者＝蔭山正子、小学生から看護師・保健師課程まで大阪で過ごす。病院看護師、さいたま市保健所・保健センター保健師を経験した後、大学教員となる。全国精神保健福祉会『心病む夫と生きていく方法：統合失調症、双極性障害、うつ病…9人の妻が語りつくした結婚、子育て、仕事、つらさ、そして未来』ペンコム、2020年、YPS横浜ピアスタッフ協会、精神障害当事者会ポルケ、蔭山正子、横山恵子『精神障害者が語る恋愛と結婚とセックス：当事者・家族・支援者のお悩みQ&A』明石書店、2020年、横山恵子、蔭山正子、こどもぴあ『静かなる変革者たち：精神障がいのある親に育てられ、成長して支援職に就いた子どもたちの語り』ペンコム、2019年など著書多数